

# 演奏者紹介



## シャンソン歌手 Mihoko

(昭和49年卒)

大津高校在学中に、ドラマーだった父の影響を受け、クラシックからポピュラー音楽に転向し、ピアノ弾き語りの活動始める。

20歳の時にシャンソンコンクール準優勝

21歳の時にポピュラーコンクール準優勝

これを機にシャンソン・ポピュラーなどのライブハウスに出演。

自身の訳詞で歌うこと、オリジナル曲を作ることも始め、それをテーマとした「Mihoko Chante エトセトラ」を南青山マンドラでコロナ禍になるまで13年間毎年続け、Mihokoの訳詞、オリジナル曲などを収録したアルバム「ジュテーム」も発表した。

コロナ禍の活動として、youtubeチャンネルを開設。

自身の訳詞、オリジナル曲を紹介し、

シャンソン「ジュテーム」は多くのシャンソン歌手がMihokoの訳詞で歌っている。

趣味で始めたアルゼンチンタンゴの縁でタンゴも歌っている。

2024年には「アペロ」というコンサートを企画。

シャンソン、タンゴに限らず、様々なジャンルの音楽を観客の皆様と共に楽しむ会を目指し活動を開始した。

4歳よりピアノを始め、高校生の頃より作曲を専門的に学び始める。

東京芸術大学作曲科卒業

在学中にパリ エコールノルマル音楽院に留学し、映画音楽の作曲を学ぶ。

クラシックからポップス、ポピュラーに至るまで、様々なジャンルの演奏、伴奏、編曲などを行っている。



## ピアニスト 岩間 麻里

